

令和2年度 第11回 FD・SD 研修会報告

日 時：令和3年1月12日（火）15:00～15:40

講 師：教務部長／ビジネス実務学科 教授 矢澤 建明

テーマ：シラバス作成方法

大学や短大の授業には必ず「シラバス」というものがあり、学生は「シラバス」を参照の上、授業を選択することになっています。しかも、ほとんどすべての大学短大でシラバスを公開することになっており、大学教育の質保証の目安となっているほど重要なものになっています。

今年度、本学は認証評価を受審しましたが、単位と学修時間の実質化がより強調されたと感じています。特に授業内で学びのない「評価のみの試験」をしないということは、毎年のことではありますが、今回も強調しました。

また、今年度から専任教員にお願いした「ルーブリック」記載を、次年度からは全教員にお願いすることになりました。

本学では、以前より「ルーブリック」は数多くの研修が行われてきており、レポートやパフォーマンスを評価する項目で、導入されている先生方も多いと聞いております。しかし、資格検定を目標にした科目や、定期試験を重視する科目など、ルーブリック記載が難しいという科目もあります。そこで、次年度シラバスでは「到達目標」のルーブリックを記載していただくこととしました。担当科目の「達成目標・到達目標」はすでに文章化されたものがあり、これをもとに、必ずルーブリックは作成できるものと考えております。

なお、本FDでは、昨年度のシラバスチェックで修正が多かった項目なども、報告しました。今年度もアクティブラーニングの記述など、昨年度同様のチェック項目ですが、毎年よりよいシラバスになっていくことを願っております。

